

全校朝会講話 2021.04.12

皆さんおはようございます。

学校が始まって一週間がたちました。どの学年も、新しい学年らしく過ごしているようで、とてもうれしく、頼もしく思います。また、1年生も、新しい小学校での生活に少しずつ慣れてきているようです。今日は、校長先生のお話の後に、1年生を紹介しますので、よろしく願います。

校長先生からは、今日は、今年最初の全校朝会なので、最初が肝心ということで、人として一番大切なこと、あいさつについてお話をします。以前、正門で見せていたあいさつの言葉をもう一度見てもらいます。あいさつは、相手の目を見て、自分から。ここには二つの大切なことが書かれています。一つは、相手の目を見て、誰かとお話をするときや、お話を聞くときには、その人のほうも見ていなければ、誰と話しているのかわからず、相手の人には通じません。あいさつもおなじです。その人の方を見ていなければ、誰に向かってあいさつをしているのかわからず、相手の人に、自分にはあいさつをしてきていない、そう思われてしまいます。だから、しっかりと相手の方を見て、できればしっかりと相手の目を見てあいさつをしましょう。もう一つの大切なことは、自分からあいさつをしよう、ということです。あいさつは、相手の人が言うから仕方なくするものではありません。例えば朝のおはようございます、のあいさつでは、今日も一日、よろしく願います、という思いを込めてするもので、仕方なくするものではありません。自分からすることで、一日がさわやかにスタートできることでしょう。さようなら、では、今日も一日ありがとうございました、という思いを込めてするのがいいですね。明日からの皆さんのあいさつに期待しています。

それから、もう一つ、廊下ですれ違った時には、こんにちは、とか、声は出さずとも軽く会釈をしてくれると、とてもうれしいです。廊下のすれ違いの時も、期待しています。今週からあいさつをがんばっていきましょう。

これで、校長先生のお話を終わります。